

平成24年第1回（3月）庄原市議会定例会

一般質問通告者 及び 質問事項

質問順位

【代表質問】

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 清 政 会
(垣内秀孝) | 2. 野 の 風
(野崎幸雄) |
| 3. 日本共産党
(谷口隆明) | 4. 市民の会
(福山権二) |

【個人質問】

- | | |
|---------|----------|
| 1. 横路政之 | 2. 中原 巧 |
| 3. 田中五郎 | 4. 坂本 義明 |
| 5. 徳永泰臣 | 6. 小谷 鶴義 |

広島県庄原市議会

平成24年3月定例会 一般質問【代表質問】

順位	会派名 (質問議員)	項目	ページ
1	清政会 (垣内 秀孝)	地方分権での財政健全化の取り組みについて	1
		地域情報化の取り組みについて	2
		市政運営での重点戦略プロジェクトの取り組みについて	3
2	野の風 (野崎 幸雄)	協働のまちづくりについて	4
		安心して暮らせるまちづくりについて	4
		農林業の振興について	5
		観光振興について	6
		指定管理について	6
		教育の充実について	7
3	日本共産党 (谷口 隆明)	財政健全化への取り組みについて	8
		木質バイオマス利活用プラント事業の総括について	9
		介護保険について	11
4	市民の会 (福山 権二)	庄原市の将来像について	12
		県北中山間地の連携と庄原市の役割について	12
		指定管理者制度について	12

平成24年3月定例会 一般質問【個人質問】

順位	質問議員	質問項目	ページ
1	横路 政之	共助の推進のために	13
		脳脊髄液減少症の周知と対応について	13
		障がい者の社会参加のために	14
		コンビニにAED設置を	14
2	中原 巧	旧緑資源幹線林道支線高尾小坂線の庄原・三和区間の事業中止に伴う今後の取り組みについて	15
		国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律の成立に伴う庄原市の対応について	16
3	田中 五郎	教育振興について	17
		さとやま景観条例（仮称）の制定について	17
4	坂本 義明	東日本大震災がれき処理の受け入れについて	18
5	徳永 泰臣	本市の農業振興策について	19
		(株)庄原市農林振興公社の経営状況について	19
6	小谷 鶴義	グリーンケミカル(株)に係る市民説明会の総括について	20
		グリーンケミカル(株)倒産後の新しいスポンサーによる事業再開の見通しについて	20
		中学校の不登校生徒の対策について	21

※一般質問日程
 3月14日（水）
 3月15日（木）
 3月16日（金）

（予定）
 代表質問
 個人質問（1～4番）
 個人質問（5～6番）

【代表質問】

順位	1	会派名	清政会	質問者	垣内 秀孝
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
1. 地方分権での 財政健全化の 取り組みにつ いて	<p>(1) 「三位一体改革」により、地方は財政危機に直面した。本市も厳しい経過を経ながら「行政経営改革大綱」を柱に「財政健全化のための計画」の策定・取り組みにより、一定の成果があり好転となった。</p> <p>しかし財政指標は厳しいと明言されている。今後の方針、取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 分権改革の柱となる「地域主権改革関連法」が制定された。これにより地方自治に影響の大きい政策課題については、地方六団体の代表が「協議の場」に参加し、その結果を尊重するとある。これをどのようにとらえているのか、考えを伺う。</p> <p>(3) 地域主権改革によって補助金等の制度は抜本的改革となった。使途が限定された「ひも付き」補助金を廃止。使途の限定がない自由に使える資金の交付金化等、一括交付金となった。自治体裁量の自由度が拡大し、事務事業の効果大と思うが、これをどのようにとらえているか考えを伺う。</p> <p>(4) 健全化のための行政評価導入、検証とあるが、事務事業のスクラップアンドビルド方式での集中と選択ととらえて展開されるのか伺う。</p>				市長

【代表質問】

順位	1	会派名	清政会	質問者	垣内 秀孝
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
2. 地域情報化の 取り組みにつ いて	<p>(1) 地上デジタル放送の難視聴解消事業は、引き続き事業実施されるが、解消の達成率はどうか。併せて新年度の取り組みで、市民が満足できる完了宣言ができるのか伺う。</p> <p>(2) 新市建設計画の全域事業で、大きい課題の高度情報通信網整備事業について、1市6町へのイントラネット網の施設・幹線敷設等への投入資本額はいくらか。また、利活用されている施設の経常経費の実態について伺う。</p> <p>(3) 超高速情報通信網整備に係る説明会等の事業検討の状況はどうなっているのか。また、整備の方向性は、新市まちづくりの基本方針である「住民も行政もみんなが情報を共有するあたらしいまちづくり」で確認されている。この方針の整備方向性は変わっていないか伺う。</p>				市長

【代表質問】

順位	1	会派名	清政会	質問者	垣内 秀孝
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
3. 市政運営での 重点戦略プロ ジェクトの取 り組みについ て	<p>(1) 重点戦略プロジェクトは、観光振興、農業振興、木質バイオマス活用の3本柱で継続的に取り組まれている。</p> <p>これらの施策は、まちづくりの活性化への根幹をなすものと期待するものである。</p> <p>農村地域でもあり、3つのプロジェクトは単品方式ではなく、リンクさせる方策で効果をあげるべきと考えるが、見解を伺う。</p> <hr/> <p>(2) 「観光で行きたい町」とする、「庄原のまちブランド化」の手法として、まちの掃除・手入れなどによる、景観づくりの取り組みを実行してはどうか。</p> <p>この手当として自治振興センター等への景観づくり政策助成や、地域人材助成も考えるべきと思うが、見解を伺う。</p> <hr/> <p>(3) 概ね1年間の活動であった庄原さとやま博の総括がされているが、まちづくりにおける観光振興の方向性について伺う。</p>				市長

【代表質問】

順位	2	会派名	野の風	質問者	野崎 幸雄
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
1. 協働のまちづくりについて	<p>すべての地域に自治振興区を設置し、「自らの地域は自ら守り、自ら創る」ということで市民と行政が一体となった取り組みを、年々拡大され、また予算も充実されてきた。検証と課題、今後の方向性について伺う。</p>				市長
2. 安心して暮らせるまちづくりについて	<p>安心して暮らすためには、困った時や緊急時に対処できること、また対応していただけることが必要である。本市において、そうした社会福祉が充実しているか。</p> <p>休日急患センターを建設するなど施設の充実に向けた取り組みが計画されている。庄原赤十字病院の産科の再開はどうなっているのか。4月には増改築が完了する。今後の見通し、また医師の確保、医療従事者育成奨学金貸付事業については、いろいろな機会であだしてきたが、現実性のある答弁をいただきたい。</p>				市長

【代表質問】

順位	2	会派名	野の風	質問者	野崎 幸雄
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
3. 農林業の振興 について	<p>農林業の振興については、重要政策の一つとして位置づけられているが、農林業を取りまく環境は極めて厳しい。庄原市農業振興計画について質問する。</p> <p>(1) 振興テーマ1「元気あふれるひとづくり」から、認定農業者を 250 経営体に、生産法人数を 50 に、また食農教育の取り組みなど達成目標を挙げているが、その具体的取り組みについて伺う。特に水稻栽培についてもお示しいただきたい。また、地産地消の取り組みについても伺う。</p> <p>(2) 振興テーマ2「魅力あふれるものづくり」からエコファーマー、ブランド認定農家、その他の栽培品目、繁殖用和牛について目標に対する基本的考えを伺う。</p> <p>(3) 振興テーマ3「活気あふれるむらづくり」については、県、市、JAなど関係機関の協力が不可欠である。その携わり方について伺う。</p> <p>(4) (株)庄原市農林振興公社について、農作業受託部門と特用林産物生産販売部門を分離し、旧市町の民間事業者に譲渡し、農産物販売部門を充実拡大し、6次産業化に向けた取り組みを展開すべきと考える。今までの成果と今後の方向性について伺う。</p>				市長

【代表質問】

順位	2	会派名	野の風	質問者	野崎 幸雄
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
4. 観光振興について	<p>観光振興プロジェクトとして貢献したさとやま博が終わったが、今後も取り組みを継続すべきと思う。また、4月に全園開園する国営備北丘陵公園、道の駅や温泉施設など、市内には観光資源がたくさんある。これらを利用した観光キャンペーンを一括業務委託で大丈夫か。また、人気のあるオープンガーデンやグリーン・ツーリズム農家民泊の取り組みへの支援はどうか。また観光消費額と交流人口をどのように想定しているか伺う。</p>				市長
5. 指定管理について	<p>保育所の指定管理について、定員が大きく増えてはいないのに指定管理料が年々増加しているが、「最小の経費で最高のサービス」の考えはどこに行ったのか。園児一人当たりの経費はどうか。指定管理者の経営状況はどうか。指定管理料の算定の考え方と最高のサービスとは何を持って評価しているか伺う。</p>				市長

【代表質問】

順位	2	会派名	野の風	質問者	野崎 幸雄
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
6. 教育の充実に ついて	<p>(1) 学校教育について、施政方針ではわず か数行で、これが学校教育に対する市長の 思いかと残念でならない。本市の将来を担 う児童生徒に対して熱い思いを伝えてほし い。</p> <p>-----</p> <p>(2) 今年度も標準学力調査を継続実施、ま た新たに授業力向上や管理職のマネジメン トの研修も実施とある。児童生徒の学力に ついて、何が素晴らしく、何が劣っている か伺う。また、先生の授業力はどうなって いるかもあわせて伺う。</p>				市 長 教育長

【代表質問】

順位	3	会派名	日本共産党	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
1. 財政健全化への取り組みについて	<p>(1) 施政方針では「中期的な視点」で予算編成をしたとしているが、長期的な財政推計にはいつから取りかかるのか。地方交付税の一本算定を視野に、財政構造の転換を進めるとあるが、具体的にはどのような見通しと方針を持っているのか伺う。</p>			市長	
	<p>(2) 平成24年度予算編成では、財政構造の転換に向けて、何から具体化しているのか。また、各課別一般財源配分方式で、福祉や教育予算等へのしわ寄せはないか。</p>				
	<p>(3) 市長は、人口減少を「負のスパイラルに陥る深刻な問題」と言われている。デフレ経済のもとでの職員給与の削減もまた、地域経済や市財政への影響が大きく、負のスパイラルに拍車をかけることになるのではないか。現時点での職員給与の削減は中止すべきだと考えるが、見解を伺う。</p>				

【代表質問】

順位	3	会派名	日本共産党	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
2. 木質バイオマス利活用プラント事業の総括について	<p>「市民説明会」を終え、改めて以下の点について伺う。</p> <p>(1) 施政方針では、「当事業へのパートナーとして適当であると判断した結果が、今日の状況を引き起した」と言われている。実施主体(事業者)の言い分に対して、なぜ客観的な判断ができなかったのか、総括すべきではないか。「協定」締結時の事業内容の判断、エタノール製造を信じた無謀さから始まった度重なる事業変更、議会での論戦、指摘など、踏みとどまる機会はいくらでもあったのではないか。</p> <p>-----</p> <p>(2) 「本事業の理念は間違っていないと確信している」と言われた。広い意味ではそうかもしれないが、事業の目的、やり方が根本的に間違っていたのではないか。繰り返し指摘してきたように、素材生産を中心とした林業振興策を基礎に置いた事業展開の条件づくりや慎重な調査が不足していたのではないか。</p> <p>-----</p> <p>(3) 第三者委員会は、「事務手続きの検証」を行うとあるが、政策の発生源から政策の決定過程まで調査してこそ生きてくるのではないか。その目的についての考えを伺う。</p>				市長

【代表質問】

順位	3	会派名	日本共産党	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
2. 木質バイオマス利活用プラント事業の総括について	<p>(4) 「スポンサー候補によるプラント再生に努めていく」とあるが、議会への答弁では、「事業から完全に撤退する」と言われたのではないか。共同事業の相手企業を告訴した以上、市は計画主体として事業を放り出し、目標達成もできなかったことを認めたことになる。直ちに事業を中止し、補助金返還請求など必要な手続きに入るべきではないか。</p>			市長	
	<p>(5) 市長は、国税や市税を無駄にしないためにも、事業継承したいと言われている。そんな考えが通用すると思われるのか。その根拠は何か伺う。</p>				
	<p>(6) 「製材事業等の成立可能性調査をもとに、庄原バイオマス産業団地構想を再検証し、進むべき方向を検討する」と述べておられる。民間業者の進出など本格的な産業団地の設置を検討することは大切だと考えるが、どのように進めていくのか伺う。</p>				

【代表質問】

順位	3	会派名	日本共産党	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
3. 介護保険について	<p>第5期の介護保険料が大幅な引き上げとなる。後期高齢者医療保険料も4月から引き上げと聞く。新年度からの介護保険料の軽減に向け、市としての対策はすべて尽くしたのか。県の「財政安定化基金」の取り崩し可能額をすべて活用し、一般会計からの(法定外)繰り入れなど、高齢者の保険料の負担を少しでも軽減するよう改めて求める。市独自の保険料の軽減対策も検討すべきではないか。国庫負担の段階的引き上げなしには解決しない問題だが、市民の生活実態を見れば心が痛む。改めて見解を伺う。</p>			市長	

【代表質問】

順位	4	会派名	市民の会	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
1. 庄原市の将来像について	<p>長期総合計画の基礎条件に市人口の推計があるが、計画時の想定どおりとはならず、人口減は加速している。</p> <p>計画時点では、平成17年当時の人口の維持は困難であるとの指摘も議会にあったが、人口4万4,000人維持を基本として企画されて実行されてきた。</p> <p>計画の総括として、人口減をどのように考え、今後、どのような対策を講じるのか伺う。</p>				市長
2. 県北中山間地の連携と庄原市の役割について	<p>県北中山間地の自治体間連携は市の将来像に欠かせない。</p> <p>県北自治体の中で、本市の果たす役割をどのように判断しているのか伺う。</p>				市長
3. 指定管理者制度について	<p>本市の場合、公的業務を受託する団体は多岐にわたって、それぞれの受託者の経営形態が異なる。施設の性格・目的等に応じて指定管理料の積算が同一基準ではない。</p> <p>指定管理に関する積算基準の統一が必要であると考えるが、市長の見解を伺う。</p>				市長

【個人質問】

順位	1	質問者	横路 政之	答弁を 求める者	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
1. 共助の推進のために	<p>本格的な高齢社会を迎える中で、助け合う地域の構築は重要な課題である。本市においても第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計画において、6つの重要事業を提案されている。その中に、小規模多機能型居宅介護施設の整備の推進も入っているが、本市に多くある休校施設を利用し、自治振興区と連携した施設運営ができる形態をつくることも必要だと思いが、考えを伺う。</p>			市長	
2. 脳脊髄液減少症の周知と対応について	<p>この病気は、交通事故やスポーツ外傷など、身体に強い衝撃を受けたときに、脳脊髄液が漏れ出し減少することで慢性的に苦しむ病気である。国内には、約30万人の患者がいるといわれ、潜在的には、病名も知らず苦しんでいる方は100万人を超えられている。</p> <p>10年前にこの病気は認知されるようになったが、現在においてもこの病気の認知は極めて低く、理解されにくく、誤解を生じ悩み苦しんでいる方がおられる。</p> <p>(1) 本市のホームページ、広報等で脳脊髄液減少症を周知するとともに、検査・治療が可能な医療機関や相談窓口、関連情報リンクなどを公開してはどうかと考えるが、所見を伺う。</p>			市長 教育長	

【個人質問】

順位	1	質問者	横路 政之	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
2.	脳脊髄液減少症の周知と対応について	(2) 平成19年5月に文部科学省から「学校におけるスポーツ外傷等の後遺症への適切な対応について」通知が出されているが、これを受けて、教育現場や関係者に対してどのような対応をされたのか伺う。	市長 教育長			
3.	障がい者の社会参加のために	本市では、障がいのある方の社会参加を促進するために、福祉タクシー券を交付している。通常、外出にあたっては、タクシーを利用するほか、家族や友人の車を利用する場合がある。そのような場合でも、タクシー券を自動車用燃料給油券として使用できるように改善してはどうかと思うが、考えを伺う。 また、本市において、紙おむつの購入に係る費用の助成は、身体に先天性の疾患がある場合のみを認めているが、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を持っておられる方にも対象を広げて助成してはどうかと思うが、所見を伺う。	市長			
4.	コンビニにAED設置を	本市の公共施設、学校などにはAEDが設置され、心肺停止の応急処置に大きな力を発揮できるようになった。しかし、利用できる時間帯は施設が開いている時間に限定されている。いざという時のために、24時間営業しているコンビニにAEDを設置してはどうかと思うが、考えを伺う。	市長			

【個人質問】

順位	2	質問者	中原 巧	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
<p>1. 旧緑資源幹線 林道支線高尾 小坂線の庄 原・三和区間の 事業中止に伴 う今後の取り 組みについて</p>	<p>(1) 1日も早い事業着手を要望し続け7年 が経過した。地域住民一同、市長の行政手 腕に期待を寄せ、希望をもって見守ってい たが、本年1月20日「細見谷林道建設を断 念」との中国新聞での報道の末尾に、わず か30文字足らずで、県は庄原・三和間の断 念も決めたとあった。県も唐突に決定し、 地元自治体や関係機関へ何ら協議もせず、 ある日突然新聞発表するような手法を到底 取るはずもない。どのような経緯で事業中 止に至ったのか伺う。</p> <p>-----</p> <p>(2) 事業中止が決定され、今さら我々の手 で、どのようにも阻止することは叶わない が、県道を一部併用しての建設計画は、来 年度以降どのように取り組む予定か伺う。</p>	<p>市長</p>				

【個人質問】

順位	2	質問者	中原 巧	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
2. 国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律の成立に伴う庄原市の対応について	<p>(1) 厳しい財政状況と東日本大震災に対処する必要性から、略称「国家公務員給与削減特例法」が、去る2月29日成立した。附則では、地方公務員も、地方の自主性は尊重されるものの、法律の趣旨を踏まえ適切に対応するよう明記され、総務省は全国の自治体に対し、この内容を文書で要請したとある。各自治体の自主判断で決定を求めているが、市としてこの要請に対し、どのように対応しようとしているのか伺う。</p> <p>(2) 施政方針の中で、財源不足を補うため、特別職三役の報酬減額の拡大と、職員給与の削減を実施するとあるが、関係条例が提案可決されたとき、国（総務省）からの要請との整合をどのように図っていくのか伺う。</p>	市長				

【個人質問】

順位	3	質問者	田中 五郎	答弁を 求める者
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 教育振興について	<p>(1) 平成 24 年度教育行政施策の方針について伺う。</p> <p>-----</p> <p>(2) 平成 21 年 12 月定例会において質問した（幼児教育、連携教育、高・大の学費無償化と奨学金の拡充、庄原市学園構想（仮称））のその後の取り組み状況と、本年度の取り組みについて伺う。</p>		教育長	
2. さとやま景観条例（仮称）の制定について	<p>自然豊かで美しい、我がふるさと「げんき」と“やすらぎ”のさとやま文化都市」創造のため、在職任期最後の締めくくりとして、次の事項を背景とした条例を制定する考えはないか伺う。</p> <p>（背景）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「美しい」とはの基本認識が必要 2. 行政の役割大（大型建造物） 3. 色・構造等の統一感 4. 廃屋や不要看板等の問題 5. 自然景観の維持・改善 6. 各種施策の積極的活用（中山間対策、農地・水対策、森林税等） 7. ガーデニング活動 8. 奨励、規制（勧告・罰則）制度 		市長	

【個人質問】

順位	4	質問者	坂本 義明	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. 東日本大震災 がれき処理の 受け入れにつ いて	東日本大震災で膨大な量のがれきが発生している。被災地では処理能力が不足していることから、被災地以外で処理する「広域処理」を促進するため、受け入れ自治体に対する財政支援を行う意向を国が示した。本市においては、焼却や埋め立て、再利用を含め、がれき処理を受け入れる考えはないか伺う。	市長				

【個人質問】

順位	5	質問者	徳永 泰臣	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. 本市の農業振 興策について	(1) 施政方針の主要施策の中で、米のブランド化への取り組みに着手するとあるが、具体的に伺う。 ----- (2) J A庄原との連携により、継続的、安定的な収入につながる農業の再構築を進めると言われているが、具体策はあるのか伺う。 ----- (3) 耕作放棄地について、実態を把握されているのか。また、解消に向けて、今後どのような取り組みを計画されようとしているのか伺う。	市長				
2. (株)庄原市農林 振興公社の経 営状況につい て	(株)庄原市農林振興公社に関しては、これまで何度も一般質問等で取り上げられているが、その後の農産物の販売状況、八木店の経営状況及び今後の展開を伺う。	市長				

【個人質問】

順位	6	質問者	小谷 鶴義	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. グリーンケミカル(株)に係る市民説明会の総括について	各会場で寄せられた意見や質問について、どのように集約されたのか伺う。	市長				
2. グリーンケミカル(株)倒産後の新しいスポンサーによる事業再開の見通しについて	<p>市長は常に継続ありとの答弁だが、どこまで話は進んでいるのか。木粉製造は全国で多くの企業が取り組んでいる。すでに平成14年頃より経済産業省委託研究プロジェクトが採択され、「電気・電子、自動車等使用済みプラスチックゼロエミッションケミカルリサイクル技術の開発」は10年が経過している。</p> <p>東大をはじめ大手の関連会社取り組み、平成14年内には事業を終え、既存の埋め立てと対比した環境負荷・経済評価を行い事業化は終わろうとしている。そのような中で、いまだ研究している段階ではないと思う。グリーンケミカル(株)と同じ失敗をしてはならず、職員の配置を含め、市長の構想を伺う。</p>	市長				

【個人質問】

順位	6	質問者	小谷 鶴義	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
<p>3. 中学校の不登校生徒の対策について</p>	<p>問題解決には時間がかかるが、少しでも進んでいるのか。不登校生徒は増えているのか、減少しているのか。1年生で不登校になった場合、3年間を不登校で終わるのではないか。不登校生徒の減少に、小中一貫教育が効果的との報道があるが、調査はしているのか。教育委員会としての取り組みを伺う。</p>			<p>教育長</p>